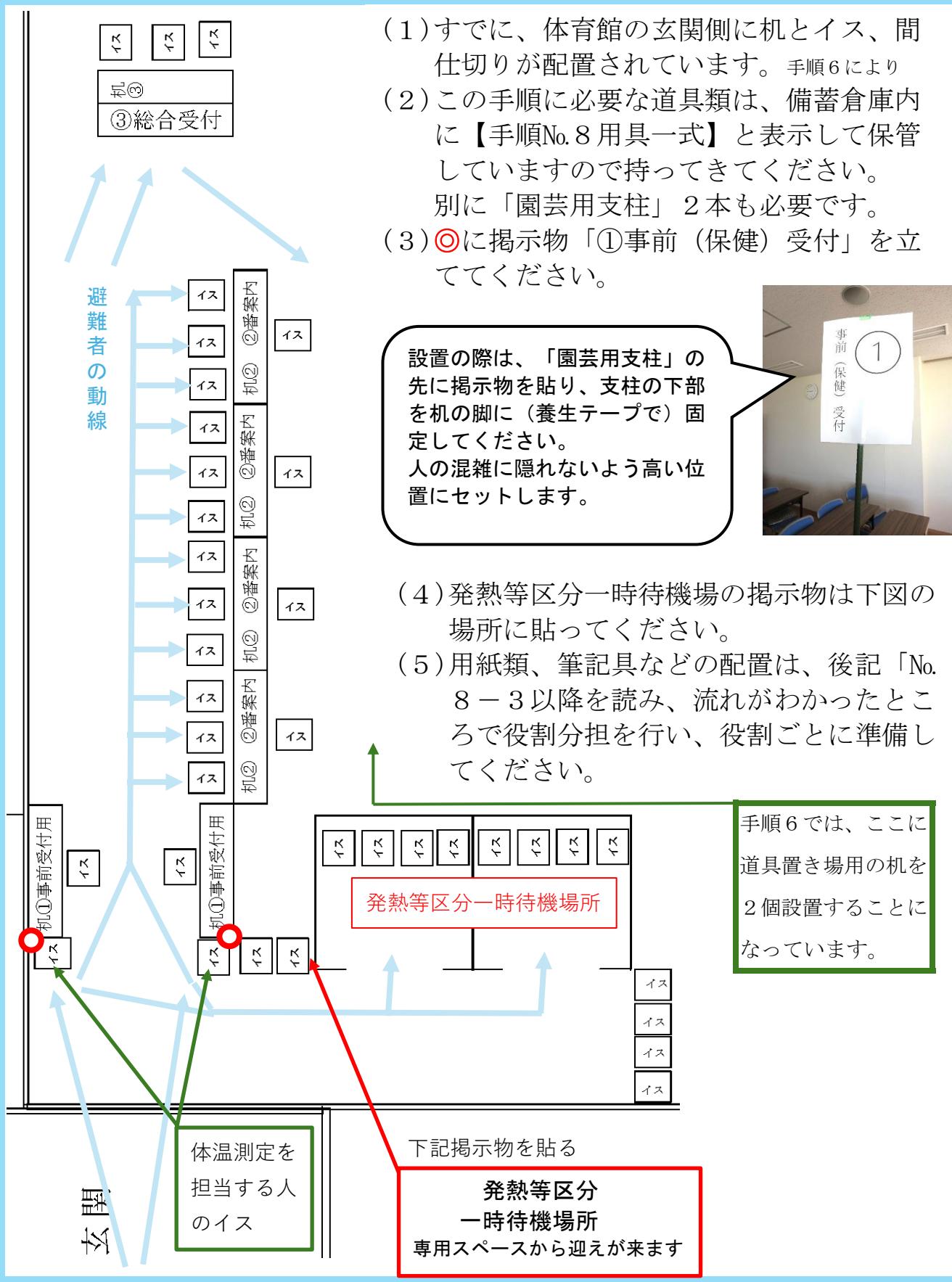


8名以上が必要

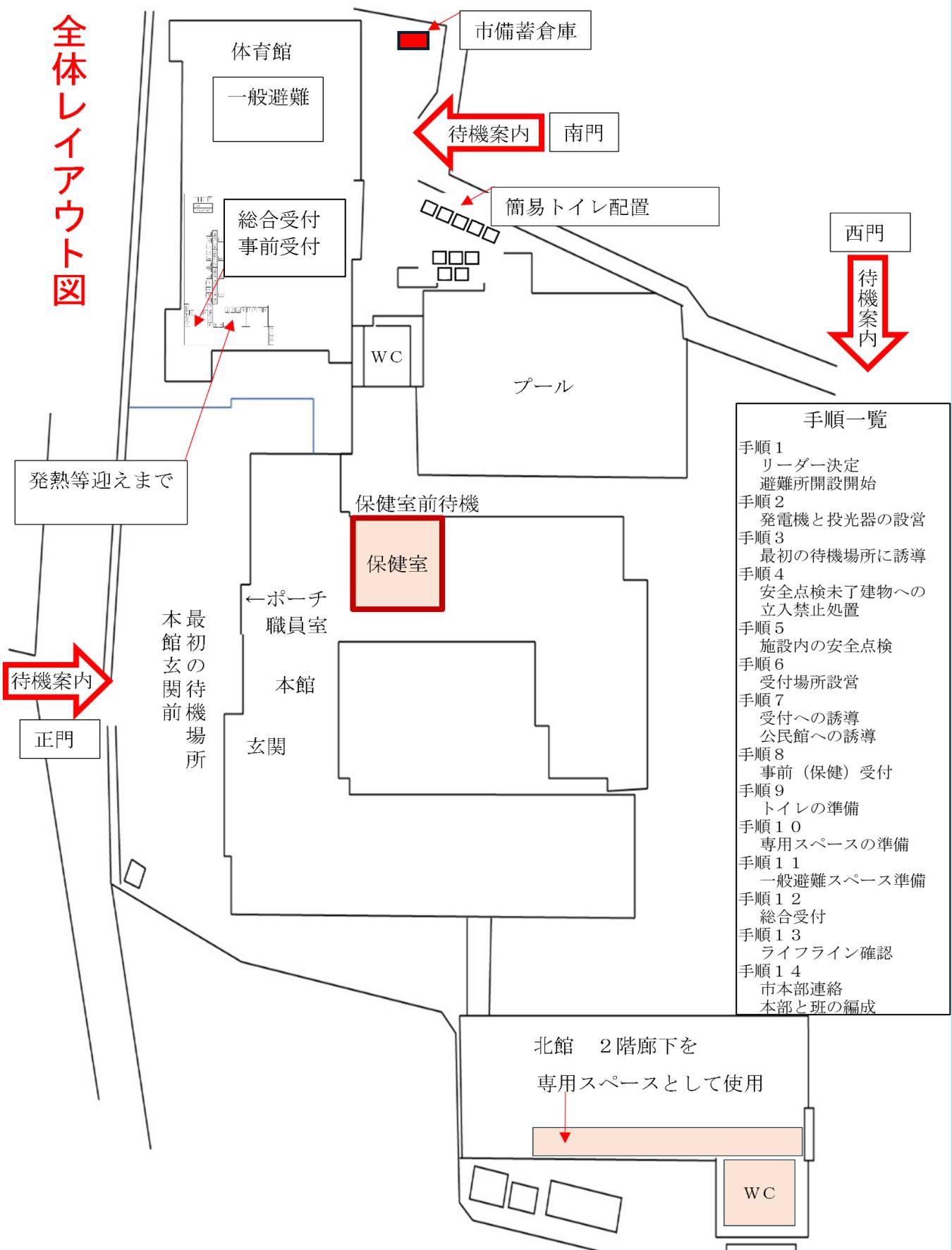


事前（保健）受付

手順No. 8-2

ウラ面

全体レイアウト図



事前（保健）受付

手順No. 8-3 オモテ面

(6) 事前（保健）受付の方法

- ① 体温を計測する担当2人を決めます。その2人は、体温計を持ちNo.8-1に図示した2か所のイスにそれぞれ座ります。
- ② 体温を記入する担当2人を決めます。その2人は「健康状態チェックカード」の用紙を2か所の「机①事前受付用」に配置し、机前のイスに着席。
- ③ 体育館に入ってくる避難者を案内する担当2人を決めます。案内担当は、避難者を整列させ、順々に体温測定担当の前に誘導します。
- ④ 体温測定担当は、体温を測定し、測定した体温を記入担当に（大きい声で）伝えます。
- ⑤ 記入担当は、白紙の「健康状態チェックカード」に伝えられた体温を記入してください。

記入した時、体温37.5度以上であれば、記入した「健康状態チェックカード」を避難者本人に持たせて、「発熱等区分一時待機場所」に入るよう案内担当者に引き渡してください。

記入した時、体温37.5度未満は、記入した「健康状態チェックカード」を避難者に渡して「②番受付」に向かうよう指示してください。

（②番受付から奥はNo.1 2 総合受付になります。）

- ⑥ 「発熱等区分一時待機場所」に案内する担当者は、次のとおり説明してあげましょう。

体温が37.5度以上の避難者は

感染防止のため校舎北館2階に専用スペースを設置しています。担当者が迎えに来ますから「発熱等 一時待機場所」に入りイスにかけて待っていてください。

(7) 健康チェックカードの扱い

健康状態チェックカード		
記入日：月 日		
当日の体調を記入し、受付に渡してください。		
氏名	(年齢：	歳)
◆体調について		
・ 発熱はありますか	(体温 度)	はい・いいえ
・ 息苦しさがありますか		はい・いいえ
・ 味やにおいを感じられない状態ですか		はい・いいえ
・ 咳やたんがありますか		はい・いいえ
・ 全身倦怠感（だるさ、疲れ）がありますか		はい・いいえ
・ 嘔吐や吐き気がありますか		はい・いいえ

「体温記入」する箇所です。この紙は、体温だけ記入したら、白紙のまま渡します。
内容は、本人が「②番受付」で記入します。

体温計は、性能の良い国産品を準備しています。取扱い説明書を落ち着いて読み、対象者のひたいを非接触で計測する方法を採用すれば順調に進みます。

事前（保健）受付

手順No. 8-4

ウラ面

(7) 感染防止

前記手順の掲示物と書類・筆記用具等の配置ができた時に、防護服・マスク
手袋・フェイスシールドを装着してください。

(8) 医療救護 事前（保健）受付・リーダー・総合受付の三者連携

直ちに医療機関への搬送を行う、あるいは医療的応急処理の必要に迫られている避難者が到着した場合、リーダーに報告し指示を得てください。

また、総合受付の担当者にも状況報告を行ってください。

総合受付情報により、避難者の中から医療関係者の救護や、搬送その他の協力を得られる可能性があります。

対象者に余裕があれば、保健室に一時待機させてください。

(9) 保健室対応

保健室の解錠を待つなどの場合は、掲示物「部屋の前で待機」を貼ってください。

保健室

**準備が整うまで
部屋の前で待機**

(10) この手順の人員確保

体温測定2人・体温記入2人・発熱等待機誘導2人・医療救護2人の計8人が最低所要人数ですが、長時間対応となる場合や応急処置対応が増えることを考えると、2倍の人数が理想となります。

リーダーと連携を保ち適切な人員確保に努めてください。

事前（保健）受付の進捗状況を、
適時にリーダーに報告してください。
現在の担当を交代するチームが来たら
この手順書をリーダーに返却しましょう！